



遠い国の問題…?

誰もが一度は耳にしたことのある「地球温暖化」。北極の氷が溶けてシロクマが住みかを追われたり、南太平洋の島が海水面の上昇により浸水被害を受けたり…。こういった現象の原因の一つとして、地球温暖化があるのではないとも言われています。この例では、なんだか自分たちとは関係のない、遠い場所での問題のような気がします。けれど、本当に遠い問題なのでしょうか？

身近なものを見てみよう

例えば暮らしに欠かせない農作物は、気温の変化にとっても影響を受けます。日本の主食であるコメは、高温の下では品質が落ちたり収穫量が減り、果物などは、高温により色づきが悪くなったり、味が落ちるといった実験の報告があります。三浦半島でも栽培されているミカンも、このまま気温の上昇が進むと、生産地がだんだんと北へ移動していくことが予測されています。ひょっとすると三浦半島産のミカンが食べられなくなってしまう日がくるかもしれません。私たちの食生活だけでなく、農家の人たちの生計にも影響が出る可能性が考えられます。

身近な自然の生き物たちも、温暖化を考えるきっかけになります。「クマゼミ」という大型のセミをご存知ですか？一昔前まで、三浦半島では城ヶ島とその近隣に限って生息していましたが、徐々に三浦半島を北上し、近年は横須賀市内でも毎年夏になると鳴き声が確認されています。生物の分布は、人間活動による移動や土地利用の変化等、多くの要因がありますが、温暖化も一つの要因として、身近な自然の生き物の暮らしに影響を与えている可能性があります。

自然の中で起こることは、さまざまな要因が関係していて、簡単に「地球温暖化のせい」と判断することはできません。ですが、地球温暖化の問題を身近なものとして考えてみるきっかけに、自分たちの身の回りをよく見てみることも大切なことです。



冬の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

特別展示「よこすか大地と生命の歴史」

日 時 10月20日(土)から平成25年1月20日(日)
場 所 横須賀市自然・人文博物館
内 容 初公開の地層のはぎ取り標本や、「触れる」ナウマンゾウの化石レプリカなど、普段は見ることでできない展示が数多く公開されています。



天神島めぐり「海鳥」

日 時 平成25年3月24日(日) 9:30~11:30
場 所 天神島臨海自然教育園
定 員 20名
対 象 小学生以上(小学生は保護者同伴)
締 切 平成25年3月9日(土)

博物館教室「古文書教室Ⅱ 中世編一戦国時代の横須賀を知る」

日 時 平成25年2月1日、8日、15日、22日、3月1日(日) 13:30~15:30
場 所 横須賀市自然・人文博物館 第2学習室
定 員 50名
締 切 平成25年1月18日(土)

申 込 往復はがきに、行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ。

希望者多数の場合、市内在住者を優先。

野外の催しは保険料50円が必要です。

問合先 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95
電話824-3688

三浦半島「自然ふれあい楽校」 森づくりの仲間募集

「湘南国際村めぐりの森」で、森の下草刈りや草地のカヤ刈りなど、いっしょに森づくり作業をするメンバーを募集します。

対 象 高校生以上(定員10名)
活動日 平成25年1月~3月の第2・3・4土曜日
時 間 9:00~15:00(半日だけの参加可)
費 用 1,000円(会費と傷害保険代)
締 切 平成25年1月31日(木)(1月中は活動日の前日まで)
申 込 住所・氏名・年齢・電話番号をE-mailかFAXで問合先へ。

問合先 三浦半島「自然ふれあい楽校」
E-mail miurafureai@gmail.com
電話/FAX857-8636(野崎方)

セブン・イレブン記念財団2013年度公募助成

全国のセブン・イレブン店頭募金箱に寄せられた募金と㈱セブン・イレブン・ジャパンからの寄付金で、環境市民団体の活動を支援しています。

期 間 平成25年3月1日~平成26年2月末
助 成 1. 地球温暖化対策助成(上限150万円×3年)
2. 活動助成(総額5000万円)
3. 自立事業助成(上限440万円×3年)など
締 切 平成25年1月31日(木)
申 込 申請書(HPから取得)に提出書類を添えて郵送
問合先 一般財団法人セブン・イレブン記念財団
〒102-8455東京都千代田区二番町8-8
電話03-6238-3872 FAX03-3261-2513
E-mail oubo13b@7midori.org
HP <http://www.7midori.org/>

コミュニティセンター

「子どもサイエンスカフェ ナマコのひみつ」

日 時 平成25年2月2日(土) 13:30~15:30
場 所 西コミュニティセンター2階 第1・2学習室
講 師 倉持 卓司(海洋生物学者)
内 容 気軽な雰囲気の中で、研究者からナマコのユニークな生態に関するお話を聞きます。質問も大歓迎!
対 象 小学4年生~中学3年生(保護者同伴可)
*同伴の場合はその旨明記
定 員 25名(定員を超えた場合は抽選)
持ち物 お好きな飲み物
締 切 平成25年1月16日(水)



「星空サイエンスカフェ」

日 時 平成25年2月19日(火) 13:30~15:30
場 所 西コミュニティセンター2階 和室
講 師 かわい じゅんこ(プラネタリウムプランナー)
内 容 星や宇宙に関する話、星空の楽しみ方など、お茶を飲みながら講師との対話を楽しみましょう。
定 員 20名(定員を超えた場合は抽選)
持ち物 お好きな飲み物
締 切 平成25年2月5日(火)

申 込 希望者は、講座名・住所・氏名・年齢(学年)・電話番号を記載して、往復はがき・FAX・E-mail・窓口(返信用はがきを持参)でコミュニティセンターへ。

問合先 西コミュニティセンター
〒240-0101 横須賀市長坂1-2-2
電話/FAX 857-0896
E-mail niph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

よこすか 海の大掃除

(主催 横須賀港の海面清掃市協働モデル事業実行委員会)

日 時 12月23日(日) 9:00~11:00(参加自由)
集合場所 ヴェルニー公園ダイエー側「いこいの広場」
内 容 収集船による海面の清掃、ダイエー横の波打ち際・ヴェルニー公園の清掃、活動写真展示
持 ち 物 ゴム手袋(会場にも用意有)、長靴
問 合 先 NPO法人港湾防災支援会 代表 後藤
電話 090-1504-5877



第19回市民環境活動報告会

(NPO法人神奈川県環境学習リーダー会、NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会、かながわ地球環境保全推進会議)

日 時 平成25年3月2日(土) 13:00~17:00
場 所 かながわ県民センター2階ホール
(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)
問合先 第19回市民環境活動報告会実行委員会委員長 柳川三郎
E-mail sm-y@dab.hi-ho.ne.jp 電話/FAX0463-59-2000

どんぐりプロジェクト「プロジェクトD」参加者募集

被災地で採取したどんぐりから苗木を育て、被災地に送り返して植樹することで、被災地の緑の復興を応援する活動です。現在、植樹可能な大きさまで苗木を育てる方を募集しています。

対 象 家族や地域、学校関係、企業やNPOなど、団体の種別を問わずどなたでも登録可能
申 込 参加申込書をe-mail、Webまたはファックスで提出
締 切 平成25年1月31日(木)
問合先 プロジェクトD全国事務局(財団法人日本環境協会内)
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16
馬喰町第一ビル 9階
電話03-5643-6251 FAX03-5643-6250
E-mail mail@project-donguri.com
HP <http://www.project-donguri.com/>



エコ活動みつけた

横須賀市で環境に関する活動をしている団体をご紹介します。

横須賀「水と環境」研究会

(第1回横須賀E.C.O大賞 地域活動部門賞)

横須賀「水と環境」研究会は、1988年設立以来、三浦半島を流れる川を観察しながら遡り、水質・水生生物・水辺環境調査を行っています。その結果は会報「研究会だより」や「川のかんきょう お知らせ板」を通して、広く市内にお知らせしています。

また、小中学校に出向き「身近な水について」の環境学習、川の上流での体験学習などを行っており、次世代を担う市内の小中学生対象の「すかつ子セミナー」では、三浦半島の海、川、産品に親しみ体感する「自然系A、Dコース」を担当しています。

さらに横須賀市や他環境団体との協働事業として「芦名堰ビオトープ再生事業」「里山的環境づくり(長坂地区、野比地区)」や「湘南国際村めぐりの森づくり」などで、水環境の調査、保全活動に協力しています。



「川のかんきょうお知らせ板」の取付



小学校での野外学習

連絡先 横須賀「水と環境」研究会 代表 高橋 弘二
電話：090-5499-0831 E-mail：hirojit@jcom.home.ne.jp

横須賀市立保育園 保育士研修会

保育士研修会では、平成22年に園児向けの「エコ育年間計画」を作成し、翌平成23年度からこの計画に沿って、各園で月1回集会を実施して、身近なエコ活動に取り組んでいます。子ども達が身近な環境問題に興味を持てるよう、毎回難しいテーマも分かりやすく楽しめる集会を行い、日々の保育の中で子ども達が小さな「エコ」に気付き、実践していけるよう取り組んでいます。一人一人が小さな取り組みを続けていくことで、地球環境保護につながることを伝えていくためにも、「エコ育」活動を継続していきたいと思います。



楽しそうな集会の様子！

連絡先 追浜保育園 電話：865-3502

お知らせ

Eco & Green Yokosuka

よこすか環境フォーラム2013 開催

活動のプレゼンテーションやポスター、フォト、ギターライブなど、今回は多彩な分野から横須賀の自然の魅力を発信します！

グリーン会場「ヨコスカ・ベイサイド・ポケット」

日時：平成25年1月26日(土)
13:00開場、14:00開演
入場無料

◆ステージプログラム

- ①表彰式 環境ポスターコンクール、夏休みエコチャレンジ
- ②「Green Kids プレゼンテーション」市内の環境活動の発表を行います。
- ③フォト&ギターライブ「もうひとつの横須賀」
「横須賀の自然」の公募写真を、本市在住のジャズギタリスト杉本篤彦氏のギター演奏に載せて紹介します。

◆フロアイベント

- ・「環境ポスターコンクール」入選作品展
- ・環境活動団体の活動展示ブース
- ・チャレンジ！環境クイズラリー



H23フォーラムの様子



ジャズギタリスト
杉本篤彦氏

エコ会場「ショッピングプラザ2階ステージ」

日時：平成25年1月26日(土)
①12:30～ ②15:00～(各回45分)
プログラム：・省エネ節電 ミニセミナー
・ちょいエコお笑いライブ
・プレギタールライブ(①の時間のみ)等

★ステージ間には、「グラスペインティング」で自分だけのキャンドルグラスをつくっちゃおう！

「夏休みエコチャレンジ」

今年度スタートした新しい取組です。小学校単位で、学校や家庭で取り組んだ節電に対してポイントを付与し、ポイント数に応じて学校で使う備品をプレゼントしています。今回は、節電にチャレンジしてくれた「市立北下浦小学校」と「市立望洋小学校」を表彰します。



環境ポスターコンクール入賞作品展

小中学生の描いた「環境」を集める環境ポスターコンクールのH24入選作品を展示します。このポスターコンクールは、市内企業の協賛で行っています。

【協賛企業(五十音順)】

イオンリテール(株)久里浜店、ウスイホーム(株)、(株)AFT、(株)クリーンパトロール、京浜急行電鉄(株)、湘南衣笠ゴルフ、NPO法人湘南国際、湘南菱油(株)、電力中央研究所、東京ガスライフバル横須賀、東京電力(株)藤沢支社、東芝ライテック(株)、日産自動車(株)追浜工場、横須賀グリーンゴルフ、(株)横須賀建具アルミセンター、横須賀みかさライオンズクラブ、横須賀モアーズシティ

季節の生き物図鑑



第5回 横須賀の冬鳥

横須賀市には冬になると越冬のため、多くの渡り鳥が北方からやってきます。これらは「冬鳥（ふゆどり）」と呼ばれ、毎年春から夏にかけて北海道やサハリン、シベリアなどの繁殖地で過ごし、寒い冬をしのぐため温暖な地方に移動してくる鳥たちです。

冬鳥には水辺でくらすもの、森や草原でくらすものなど、いろいろな種類がありますが、ここでは市内で見られる代表的なものを紹介します。

ウミウ：名の通り海でくらすウ（鵜）のなかまで、市内では猿島に「ねぐら」（夜間に休息のため集まる場所）があります。魚とりがじょうずで、日中は沿岸各地でえさを探して泳ぎ、岸辺で羽を乾かす姿が見られます。

カモ類：市内ではカルガモだけが留鳥として一年中見られ、その他の野生のカモ類はみな冬鳥としてあらわれます。長井の轡堰（くつわぜき）には、マガモ、コガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、スズガモ、キンクロハジロなどが毎年やってきます。

カモメ類：セグロカモメやユリカモメなど冬の海岸でよく見られるカモメ類も冬鳥で、成鳥は春になると繁殖地へと去ります。しかし、繁殖に加わらないウミネコの若鳥は、市内で一年中見ることが出来ます。

ツグミ類：市内の明るい雑木林や公園、畑などにあらわれるムクドリくらいの大きさの鳥です。ツグミやシロハラ、アカハラなどが地上に降りて餌となる木の実や虫を探す姿が見られます。

冬は、海上の空気が澄み、落葉のため森の中が明るくなって、野鳥の観察に適した季節です。身近にどんな冬鳥たちがやってきているのか、目を向けてみてはいかがでしょうか。

（横須賀市自然・人文博物館 萩原学芸員 ）

【天神島めぐり「海鳥」】

日時：平成25年3月24日（日）9:30～11:30

場所：天神島臨海自然教育園

◎越冬を終えて三浦半島から北方へと帰る前の冬の海鳥たちを観察します。

（申込方法は中面をご覧ください。）



羽を乾かすウミウ



くちばしの模様が特徴のウミネコ



雑木林の冬鳥の代表ツグミ

memo：よこすかECO通信第5号で紹介した、横須賀市地球温暖化対策地域協議会実施の「よこすか節電チャレンジ*」には、231件の応募があり、抽選の結果50名にLED電球が贈られました。節電の取組が広がっていますね！ *7～9月の電気使用量が昨年または一昨年を越えなかった人からの申込を募集。

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

この情報紙は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。
「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

